



発行：さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：茨城県ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤英一 (TEL:029-273-4775)

最近、県内でも地震多いですね 県外の親戚や知人から心配の電話やメールが・・・

先月 17 日、20 日、27 日と立て続けに茨城県で比較的大きな地震があり、県外の親戚や知人の方から、心配の電話などを頂いた方も多かったのではないのでしょうか。

茨城県は、30 年以内に震度 6 弱以上の地震が起こる確率が最も高い県の一つであり、70%です。(地震調査研究推進本部 HP 資料より)

また、首都圏では、いつ大きな地震が起きても不思議ではない時期に入り、最大の警戒が必要との警鐘をならず機関も出ています。(MEGA 地震予測)

東海第二の再稼働・運転延長に 触れない当選に “疑問の声”

先の参議院選では、岡田広氏は他の候補に大差をつけて当選、相変わらず、県民から広く支持されていますね。しかし、氏の姿勢に不満が残ります。東海第二原発の適合申請の審査が急ピッチで進み、審査が通れば、来年の秋には、運転延長申請が予想されるのに、岡田氏は現職の与党議員として、この事態を県民に知らせることもなく、何の態度(公約)も示していません。

これでは岡田氏のポスターの傍にあった「愛郷無限」の看板が泣いているのではないかと思います。

故郷の愛し方をみんなで問うてみたいものです。

小泉純一郎元首相も、「原発を 即刻ゼロ」発言

世界で最も核のゴミ(使用済み燃料と老朽解体施設材)への対策が進んだフィンランドの核施設を視察して、小泉純一郎元首相は「原子力発電はやはりだめだ」と、それまでの考えを原発ゼロに変えたといいます。

原発地元の現職国会議員がなぜ、選挙で自分の信念を述べないのだろうか。

◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

「核のゴミと私たち」で 小出裕章氏が講演



小出裕章氏は、原子力の平和利用を夢見て原子核工学科に入学したものの、原発の危険性に気づき、原発を止めさせるための研究を続け、昨年京都大学を退職。現在、講演活動中。

日時 10月15日(土)午後1時30分～
場所 ワークプラザ勝田 多目的ホール
入場料 700円(当日900円、学生は無料)

高校生、高専生、大学生の若い方の質問や意見を小出先生に答えて頂く時間を予定しています。ぜひ質問・意見をお寄せ下さい。080-5496-6261 荻
Email: koenkaih@yahoo.co.jp

(資料提供：主催の小出裕章氏講演会実行委員会)

ひたちなか市での

東海第二原発への 声

声

皆さんの **声・つばき**
お寄せ下さい。
TEL/FAX:029-273-4775

お知らせ・お知らせ・お知らせ

JCO 臨海事故を忘れない 2016年9.30茨城集会

9月24日(土) 13:30~16:00
東海村産業・情報プラザ・多目的ホール
記念講演「**フクシマ 無念**」
原発被害者の漂流・無念を告発する
スライドトーク 菊池 和子氏(写真家)
資料代:500円
連絡先 029-224-8662(新婦人県本部)

60代男性 足崎

会員:東海第二なくそうというビラです。
男性:本当は原発はいらないんだよなー。
会員:でも、このままですと、原発は動きだします。原発止めても、あとに残る問題は雇用だけだと思うのですが?
男性:その通りだ。国の政策で原発を進めてきたわけだから、ここは政治が解決すべきことだ。
会員:本当にそうですね。これからも運動にご支援・ご批判をお願いします。
男性:ガンバッテくれ。

50代男性 馬渡

(仕事に出かけようとしている矢先)

会員:東海第二をなくそうというビラです。
男性:エ! 東海第二は廃炉でねーの?
会員:そう思う人が多いのですが、現実には国の審査がどんどん進んでいますし、東海第二より古い原発の運転延長が認められています。
男性:いやんなっちゃうなー。

70代女性 足崎

女性:東海第二は危ないよね。なくして欲しいわ。
会員:でも、現実には運転延長の方向です。私らは、風化を防ぐためにニュースを毎月1万枚配っていますが、ここらが限界です。あとは市民の皆さん一人ひとりがどう考えるかだと思います。
女性:私は〇〇会に入っているの。50人くらいいるから、そこでも話題にできるのではないかしら。
会員:いろいろの人が、声を出しあうことがいま大切だと思います。

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると?



0.37 μ Sv/h

2016 7/21(木) ひたちなか市三反田(みたんだ)、東に「ひたち海浜鉄道」の見える農道脇の杉の枝の下、高さ1mのところ。西の丘の上(写真左上)は見事なサラブレッドに乗れる馬場がある。この農道、素敵な風景のため、朝夕は近くに居住の方々の散歩道。いつもお世話になっている海浜鉄道の車窓から見え、気になっていた場所の一つ、放射線測定がやっと実現しました。ちなみに、地表約5cmでは、0.50 μ Sv/h。

- 1) 単位は μ Sv/h (マイクロシーベルト毎時)。
*「2011年の原発事故」前は0.05~0.02 μ Sv/h。
2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。